



ニュースリリース

平成26年7月25日
千葉大学大学院人文社会科学研究所

インドネシアで共同科学シンポジウムを開催
～日本の経営者が海外の大学で熱い思いを発表できるチャンス到来～

千葉市にある国立大学法人千葉大学（千葉市稲毛区弥生町 1-33 徳久 剛史学長）とインドネシア姉妹大学の教員が中心になり、10月にインドネシアで日尼共同科学シンポジウム(IJSS)を開催します。これに出席し英語で経営成果等を発表いただける経営者の方5名を募集いたします。

- 主催：IJSS2014 Local Committee（ガジャマダ大学に設置され、全権限と全責任を持って今大会を運営します。HPは<http://ijjss2014.geo.ugm.ac.id/>）
- 応募期間：7月25日～8月25日
- 場所：インドネシア（ジョグジャカルタ市）ガジャマダ大学
- シンポジウム開催日：10月28日～30日（3日間の内何れか1日 発表時間は約30分）
- 参加費：1企業10万円（宿泊費込、ローカルコミティー宛送金）、渡航費・食事代別途

当シンポジウムはIJSS(Indonesia Japan Joint Scientific Symposium（インドネシア日本共同科学シンポジウム）)の名称で、千葉大学とそのインドネシアの姉妹大学が中心となって開催されている権威ある国際シンポジウムです。

2004年に千葉大学で開催されて以来、2年おきに日本とインドネシアとで交互に開催されてきており、今回は6回目。2014年10月28日から30日にかけてインドネシアのガジャマダ大学(ジョグジャカルタ市)で開催されます。

今回からは理科系に加えて人文・社会科学系も加わり、その内容を一層充実させることになりました。この機会に、企業経営者の皆様にもご出席いただき、アカデミックスとビジネスの協力・連携による両国のより一層の日尼国際交流を企図しています。

インドネシアは日本の重要なパートナーであり、今回のシンポジウムの参加を通じて、両国の交流を深め、新たなビジネスの開拓が期待されます。参加予定者の一人（食品製造業）は、“アジアは和食市場が急成長している地域であり、現地の優秀な学生に直接日本食の素晴らしさを伝え、交流を深めたい”と語っています。これから長期的な視点に立ち、現地インドネシアで人脈作りをしたい経営者の方々にぜひ参加いただ

きたく思います。参加企業様へのケアとして、大会前に3回の準備会合を設け、発表のご相談やアドバイスをさせていただきます。

本件に関するお問い合わせ先
千葉大学大学院人文社会科学系研究科
教授 榊原 健一
Tel : 043-290-2418
E-mail : sakakibara@le.chiba-u.ac.jp
(不在の場合は千葉大学人文社会科学系総務係
(043)290-2343 まで)